

## ルーマニア・ビストリツァ市による姉妹都市提携の希望

2013年3月  
在ルーマニア日本国大使館

今般、ルーマニア北部のビストリツァ市から、日本の都市との姉妹都市提携を希望する旨の要望がありました。以下、ビストリツァ市の概要を紹介いたします。

### 1 市の概要

#### (1) 所在地・地勢

ビストリツァ・ナサウド県ビストリツァ市（東経24度30分，北緯47度10分）



(↑上空から見たビストリツァ市)

トランシルヴァニア地方（ルーマニア北西部）の北東にあるビストリツァ高原の、ビストリツァ川が流れる自然豊かな土地に位置しています。



(↑ビストリツァ川)

#### (2) 面積

14,547ha

#### (3) 人口

81,259人（2002年国勢調査）

人口のおよそ9割をルーマニア人が占め、ハンガリー人約6%，ロマ人約2.5%，ドイツ人約0.5%となっています。

(4) 日本との時差

夏－6時間，冬－7時間

(5) 姉妹都市

ブザンソン市（フランス），ジエロナ・グラ市（ポーランド），ジョージア州コロンバス市（アメリカ合衆国），ヘルツォゲンラト市（ドイツ），ラクイラ市（イタリア）

(6) その他

アイルランドの作家ブラム・ストーカーの小説「吸血鬼ドラキュラ」の冒頭にも登場し，同主人公が宿泊したドラキュラゆかりのホテルとして有名な「コロアナ・デ・アウル」があります。

公式ウェブサイト（ルーマニア語／英語）：<http://www.primariabistrita.ro/>

## 2 ビストリツァ市の歴史

この地は12世紀にモーゼル溪谷（ルクセンブルグ）からやってきたドイツ人入植者により町が形成されました。ハンガリー女王の保護の下，トランシルヴァニア地方とモルダヴィア地方（ルーマニア北東部）間の交易で栄え，1465年に要塞が建設され始めてからは要塞都市として発展，18世紀にはハプスブルク家の支配下となって帝国の東の国境の監視という重要な役割を果たしました。

ルーマニア領となったのは第一次世界大戦後の1919年ですが，第二次世界大戦中の1940年から1944年にかけては再度ハンガリー領となっていました。第二次世界大戦後に町は大きく拡張し，郊外に工業地帯が形成されました。1979年に市に昇格して以来，ビストリツァ・ナサウド県の県庁所在地となっています。



（↑ 要塞の一部）



（↑ 市庁舎）

## 3 ビストリツァ市の産業

中世の間，ビストリツァ市は主要な商業都市でした。15～16世紀にはロドルナ山の金や銀の鉱山から大量の金が得られましたが，戦間期には工業化が進まず，主に農業が営まれていました。20世紀後半には政府の投資により，町の西部に700ヘクタールに及ぶ工業地帯が設立されました。現在の主要産業は，電気機器製造業，プラスチック製造業，自動車部品製造業や製鉄業です。

#### 4 ビストリツァ市の文化的行事

毎年、以下のような行事が開催されています。

- ・ 中世ビストリツァ祭
- ・ 「永久の根」祭（クリスマスや新年の伝統行事の保存）
- ・ ジプシー伝統祭
- ・ 国際民俗音楽祭
- ・ トランシルヴァニアロック祭
- ・ 国内演劇祭
- ・ 国際ファンファーレ祭
- ・ Blow Music and Dance（歌謡曲やダンスの大会）
- ・ Pfingstfest 祭（ドイツ系住民主体の祭り）



（↑中世ビストリツァ祭）

#### 5 姉妹都市に関するビストリツァ市の意向

経済・文化・スポーツの面で交流ができ、近くに大規模空港があるなど交通の便が良く、人口20万人程度の歴史的な都市との姉妹都市提携を希望しています。

##### 【お問い合わせ先】

○外務省大臣官房総務課地方連携推進室

電話 03-5501-8491

メール [gaimu-renkei@mofa.go.jp](mailto:gaimu-renkei@mofa.go.jp)

○在ルーマニア大使館

電話 +40-21-319-1890

（了）